



私たちが生活する社会にどのような問題があるでしょうか?
今、そして将来に向けてあなたが望むことは何ですか?



[考えてみましょう]

私たちが生活する社会の問題を解決し、社会をより良くする方法を考え、決めていくことが政治の役割です。

しかし、少数の人が自分たちのためだけに政治を行ったら、社会全体はより良いものにはなりません。

そのため、みんなが社会の一員として参加し、意見を出し合い、ものごとを決めていくことが重要なのです。(民主主義)

私たちは、若い人から高齢の人まで、一人ひとりが「主権者」であり、国や地域の政治のあり方を最終的に決めることのできる力を持っています。(国民主権)

「選挙」はなぜ大切なのでしょうか?



社会を構成する人たちの全員が集まり、全員で複雑なものごとを決めるのは難しいことです。

「選挙」は、なるべく多くの人の意見を政治に反映するため、私たちに代わって社会の問題を解決したり、私たちの願いを実現してくれる代表者を選ぶための仕組みです。

「選挙権」は、私たち一人ひとりが「主権者」として社会をより良くしていくための大切な権利なのです。

中学3年生の皆さん、今はまだ選挙権がありませんが、この小冊子を通じて選挙についての理解を深め、近い将来、立派な有権者として投票に参加してくれることを心から願っています。

選挙の四原則

- 日本の選挙は次の四つの原則で行われています。
-

普通選挙

すべての国民に、性別や納税の有無などにかかわらず、ある一定の年齢に達した時に選挙権や被選挙権が与えられます。

平等選挙

すべての選挙人の選挙権の内容は平等であり、1人1票制がとられています。

直接選挙

議員などの選出が、一般の選挙人によって直接行われる直接選挙が行われています。

秘密選挙

選挙人の自由な意思による選挙権の行使を保障するため、無記名秘密投票制度がとられています。

